



# サロンの衛生管理 ここに注意!!

平成25年度から平成26年度にかけて厚生労働科学研究費補助金「エステティックの施術による身体への危害についての原因究明及び衛生管理に関する研究」において、実際にエステティックの現場で採取したサンプルに基づき実際の作業で注意する点をまとめました。

## 1 あなたのサロンの手指消毒剤は大丈夫!?

エステティシャンの手洗い消毒の調査を行ったところ、手洗い消毒後の方が手に付着する細菌の量が増えるケースがありました。

**原因** 手指消毒剤の劣化により環境中の細菌が混入し増殖した可能性が考えられます。

**対策** 手指消毒剤は、平均的な1日の使用量を計算し、だいたい3か月から半年くらいで使い切れる量のものを使用しましょう。また、環境中の細菌が混入することを防ぐため、開封して他の容器に小分けする様な使用方法はやめましょう。



手洗い前

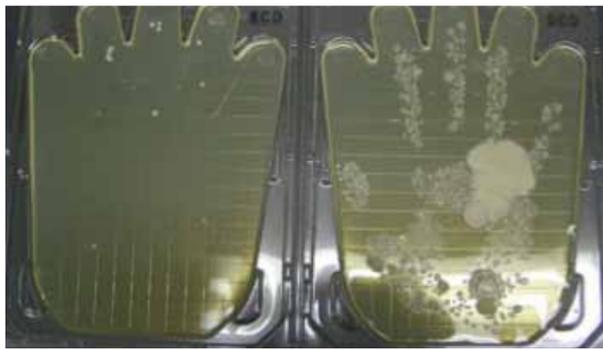


手洗い後

## 2 施術後の手は細菌類がたくさん!!

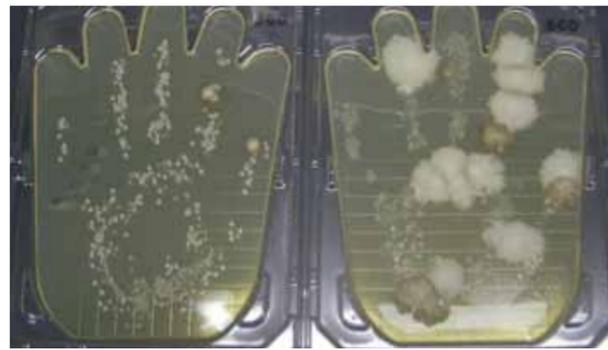
フェイシャルスキンケア基本施術を行った技術者の手指を調査した結果、お客様の顔面に付着している細菌類が技術者の手指に移っていました。

**対策** 施術終了後は、他の場所を触る前に手洗い消毒をしましょう。



施術前

施術直後



施術前

施術直後

## 3 水回りは細菌類の天国!!

サロンの水回りから、細菌類が検出され、それらがサロンの施術室等他の部分に広がっている事例がありました。



**原因** 細菌類が繁殖している水回りを手で触ってそのまま他の部分を触ったか水回りを掃除した雑巾を消毒しないまま他の部分を掃除し塗り広げてしまったことが考えられます。

**対策** 水回りは、使い捨て雑巾もしくはペーパータオルを使用し、こまめに水分を拭き取りましょう。



スタッフ手洗い場 ハンドル部分

## 4 使用後の雑巾は消毒、乾燥を!!

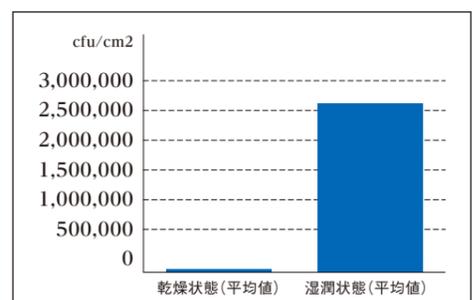
使用後の雑巾は、きちんと消毒乾燥させることが大切です。使ったまま放置した雑巾、特に濡れたままでは、かなりの数の細菌類が繁殖します。翌日そのまま掃除をすると掃除した部分が汚染されます。人工的に細菌を付着させた雑巾では、乾燥状態に比べ濡れたまま放置した雑巾は、細菌数が10,000倍から100,000倍に増えていました。



使用后乾燥させた状態の雑巾



使用后濡れたまま放置した雑巾



人工的に細菌を付着させた雑巾の細菌数

### 雑巾使用の問題点

- 1) 生地を重ねて縫製されているという構造上、厚みのある雑巾ほど入り込んだ病原体を除去しにくい。
- 2) 病原体を含んだ雑巾は清掃時にバケツなどで十分にすすいでも病原体を除去することができない。
- 3) このことから病原体が増殖している可能性がある乾燥不十分な雑巾を再使用する場合、最初に使用する場所を病原体で汚染してしまうという問題点がある。  
(大澤 忠:看護技術2013-12 :59(14) p1522-1524)

### 改善策

1. 清掃に雑巾を使用することで生じる環境汚染を予防する策
  - 1) 清掃時に雑巾を使い分ける
  - 2) 使用後の雑巾の管理(洗濯・消毒・乾燥)
  - 3) 雑巾を使用せず、単回使用の清掃用品を導入する。  
(大澤 忠:看護技術2013-12 :59(14) p1522-1524 )
2. 使用后洗浄した雑巾をよく乾かすこと、もしくは可能であればディスポーザブルの紙雑巾の使用が望まれる。  
(米国CDC:ヘルスケア施設の環境感染コントロールガイドライン)